

第52回 エフエム伊東 番組審議委員会			議事録
会議場所	伊東ふれあいセンター 3階多目的ホール	日時	令和2年8月28日(金) 19:00～20:30
出席者	水口進吾・稲葉雅之・土屋由美子・山田毅 各委員 佐藤文彦委員（文書で回答） 放送事業者：小柳代表・岩崎・西野・石川・池田・神田		委員総数 10名 出席委員数 5名 欠席委員数 5名

【議事】

- 代表取締役より挨拶、現状説明
- 新番組、活動状況の説明
- 委員より意見、感想

**〔1〕 「いとう爽やか情報局」 8月3日月）放送の内容について
（島田須賀子さんとのトークコーナー、伊東マリンタウンの情報、伊東警察署の方に
聞く「安心ラジオ 伊東警察」などを放送）**

審議委員) 「仕事により文書で感想を述べさせていただきます。「いとう爽やか情報局」は、タイトル名の通り、西野さんのテンポのいい、軽快なトークで違和感を抱くことなく、すんなりと聞くことができました。途中、言い間違いの訂正も、落ち着いて訂正するなど、さすがプロだなあと感じました。引き続き、地域話題を提供する放送局として、さらに地域に密着した番組の制作に取り組んで頂きたいと思います。」

審議委員) ながら聞きが主となるため、自分の興味あるポイントだけが耳に残る。興味がある、楽しいと感じるものに耳を傾けてしまう。「しょてーらくゆみちゃん」（金曜日放送）は興味深く聞いた。興味がある局だから聞いている。人通りの多いサテライト局があれば、通りすがりに聞いた人の興味を引いて聞いてくれる人も増えるのでは。

審議委員) ながら聞きで聞いた。気になる部分だけ耳を傾け聞いた。給食情報など面白かった。子供たちを送り出した家庭に届けられると思うと面白い。生活に必要な情報がケアされているなど感じた。「しょてーらくゆみちゃん」はすごく面白かった。面白い番組はアーカイブとして聞けるようにできたらいいと思う。

F M伊東) アーカイブは、費用がかかるので現状では対応できない。今後できないか検討していきたい。現在は再放送で対応している。

審議委員) 聞いた人の話を聞くと面白かった様子が伝わってくる。車内で聞くようにしているが、自動選局でとばされてしまう。可聴範囲が狭いことが解消されるといい。

F M伊東) 送信所が移設される時に、出力が10Wから20Wに増える予定なので、ある程度解消される見込み。

審議委員) 自分より年輩の方に聞くと、情報や必要なことは聞くが、音楽になると知らない曲が多いので多いので別のことをしているという。年輩の方が懐かしむ曲を流してもらいたい。ハガキでメッセージやリクエストをもらえる、(リスナーが) 送りやすい仕組みがあるといいと思う。3ヶ月位まとめて抽選で何名かに賞品をプレゼントするなどできたらいい。

〔2〕 その他

審議委員) 山口百恵特集として1ヶ月朝昼夕と放送していたのがよかった。そういったものがあれば、年輩の方に向けていいと思う。

F M伊東) 月間アーティストをピックアップして1日3回特集して放送している。

審議委員) 伊東のオリジナル曲は聞きたくても聞けない。知らない方が多いからラジオを通じて聞く機会が作れたらよいと思う。

F M伊東) 楽曲を集めて特集を組めるよう準備する。

審議委員) 選曲や番組に対して様々な世代の評価があるので、その情報を集め番組制作に取り入れる方法などはないのか。
たまに聞いた人が響いてまた聞いてもらえるようになればいいが、一元になるよりも包括的に長期的に聞いてもらえるように出来ればいい。
聞いている時間、年齢層などをアンケートなどで聴取し実態に合わせた番組構成ができるとミスマッチがなくなって聞いてくれる人が増えるのではないか。
地元の高校生などが研究テーマとして取り組んでもらうなどいいのでは。

F M伊東) 昨年静岡大学の学生がコミュニティFMを題材に論文を作るため来局したことがあった。伊東商業高校の研究課題に取り上げてもらうことを検討する。

F M伊東) (平日の) 生放送番組は、朝が1時間、昼2時間、夕方30分となっているがバランスはどうか。

審議委員) ながら聞きで聞く分には問題はないのではないかと。生放送は生放送の魅力がある。時間によって内容を作り上げる必要がある。

審議委員) サイマルのQRコードが番組表についているが、ステッカーには付いていない。小さくてもいいから付けたら良いのでは。なぎさステーションの名前にしなくても、興味を示すようなタイトルで、QRコードを付けたステッカーにしても良いのでは。

F M伊東) 既存のステッカーの配布が終了したら、新しいものを製作する際にデザインに組み込みたい。

- 審議委員) 小学校の給食時間などで伊東の昔話などを流してもらえたりするといいと思う。
- 審議委員) 生放送で流している曲はその日のテーマを決めて選曲しているのはいい。
アーティストで特集するより、テーマを設けて年代を越えて選曲すると聞いたことがないアーティストでも違和感なく聞くことができる。
- F M伊東) 10月に向けて新しい番組表の製作を予定しているが、コロナ禍の影響によるスポンサーが心配される。
- 審議委員) 番組表は広告としての機能ではなく、市民の命を守る情報の生命線として共感してくれる方に協力を募ることも必要でないか。
- 審議委員) スマホで聞く方が入りやすいので、サイマルの告知、ネット経由で聞くことができることを告知していけると良い。
- F M伊東) 本日はありがとうございました。次回は11月を予定しています。